

# JAERA

# NEWS LETTER

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 ニュースレター

- 巻頭言・2022年度 WEB開催決定 自動車リサイクル士認定講習会(予告) … P1  
 □第7回業界景況調査の結果について… P2、P3、P4 □業界の智恵を結集！解体性向上事例集が完成！ … P4  
 □エアバッグのナイロンがファッションの素材に！/2022年度定時社員総会がついに対面で… P5  
 □2021年度駆動用HV/バッテリー共同出荷事業3月出荷状況と2021年度累計・3月新車販売・使用済自動車発生台数 … P6 □鉄スクラップ最新情報 … P7 □行事予定・お知らせ/編集後記 … P8

vol. **158**

## 2022年度 WEB開催決定！ 自動車リサイクル士制度認定講習会

# 01

～いつでも視聴できる便利なオンデマンド配信で講習会、是非この機会に～

昨年度、WEBを活用して開催された自動車リサイクル士制度認定講習会ですが、2022年度(今年度)の開催につきまして数多くのお問い合わせをいただいております。今年度の講習会は、昨年度同様の方式で開催するよう現在準備を進めております。



【新規講習会試験の様子】

### 【新規講習会】

対象者	自動車リサイクル士の資格をお持ちでない方
種類	「全工程」※引取・フロン工程は実施しません
実施方法	①講習会 WEB上で講習動画の視聴(いつでも視聴できるオンデマンド配信) ②修了試験 会場での試験(全国7会場)※十分なコロナ対策を実施
日程	・申込開始:6月頃 ・修了試験:10月～11月頃

### 【更新講習会】

対象者	既に資格をお持ちで、資格の有効期限が2022年10月or11月の方
種類	「全工程」「引取・フロン工程」
実施方法	WEB上で講習動画の視聴(配信日時が決まっているサテライト方式) ※動画視聴後WEB上で確認試験を実施(合否判定はございません)
日程	・申込開始:6月頃 ・講習会:9月頃(1回のみ)

※上記内容は変更となる可能性があります。

詳細は決まり次第皆様へご案内いたします。2022年度も皆様のご参加をお待ちしています！

## 巻頭言

「2022国際ロボット展」が東京ビッグサイトで開催されました。産業用ロボット、サービスロボット、応用システム、要素機器などが一堂に集結する世界最大規模のロボット専門展で615社もの企業が参加されていました。異種ロボットネットワークによる社会支援と人材育成が今後のテーマで、例えばレストランで配膳をするロボットなど多様なサービスロボットが展示されていました。

最近ではコロナ禍のため人との接触も減り、空港では実証実験として案内ロボットや受付ロボットが使われています。私自身、ロボット展というものに初めて参加しましたが、業務フローや施設の環境などの部分でロボットを導入しやすくなる、いわゆる“ロボットフレンドリー”な環境となるよう、これから社会環境が整っていくのだと思います。

また、ロボットを活用した新しいサービスが実現されることは、誰もが安心して暮らせるユニバーサルな未来社会への一歩であると感じています。

〈広報部会 伊地知 志郎〉

《編集・発行責任者》  
一般社団法人日本自動車リサイクル機構  
広報部会長 永田 則男

《お問い合わせ先》  
一般社団法人日本自動車リサイクル機構  
〒105-0004  
東京都港区新橋3丁目2番2号  
TEL: 03-3519-5181  
FAX: 03-3597-5171  
MAIL: jaera-homepage@elv.or.jp  
HP: http://www.elv.or.jp/

## 一般社団法人 日本自動車リサイクル機構 第7回 景況調査報告 2022年1～3月期 (概要版)

### 前期比の業況判断 これまでの景況調査で最も厳しく

#### 【調査要領】

- ①調査時:2022年3月17日(木)～3月31日(木)
  - ②対象企業:日本自動車リサイクル機構会員企業
  - ③調査の方法:FAX・Web の送受信による自計記入を求めた
  - ④回答企業数:468社のうち124社(26.4%)から回答を得た(うち、有効回答数 124)
  - ⑤平均従業員数:役員を含む正規従業員数 24.7人(前回 29.4人)  
派遣社員・臨時・パート・アルバイトの数 9.3人(前回 6.1人)
- ※DI 値(DI : Diffusion Index) 「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引いたもの

経済・経営環境が変化するなかで、本調査結果が企業経営の羅針盤となればと考える。今後も、ご回答への協力を頂ければ幸いです。なお、本文中の「△」はマイナスを意味する。

■お詫び■前回の第6回、第5回、第4回のDI値の集計に、一部、誤りがございました。謹んでお詫び申し上げます。訂正版の景況調査結果は、以下のURLで公表しています。

→ <https://elv.or.jp/index.php?itemid=1811>

### (1) 概況 (業況判断・売上高・経常利益・資金繰り)

2022年1～3月期の、業況判断、売上高、経常利益、および資金繰りについて、前年同期(2021年1～3月)との比較が図1から図4である。回答者が「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引いたDI値は、業況判断が△44.4(前回△20.9)、売上高が△8.1(前回0.7)、経常利益が△17.7(前回0.7)、および資金繰りが△18.5(前回3.0)であった。

図1 前年同期(21年1-3月)比業況判断:DI値△44.4

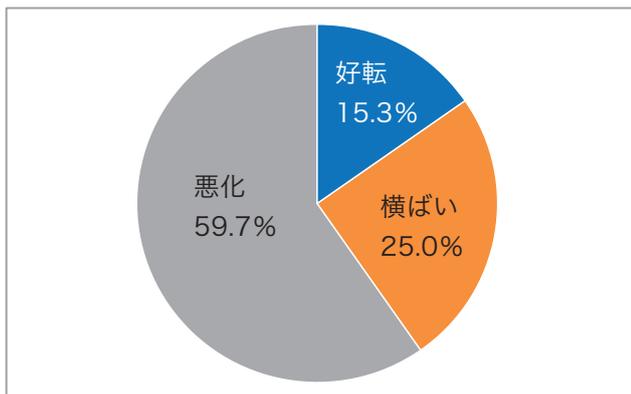


図2 前年同期(21年1-3月)比売上高:DI値△8.1

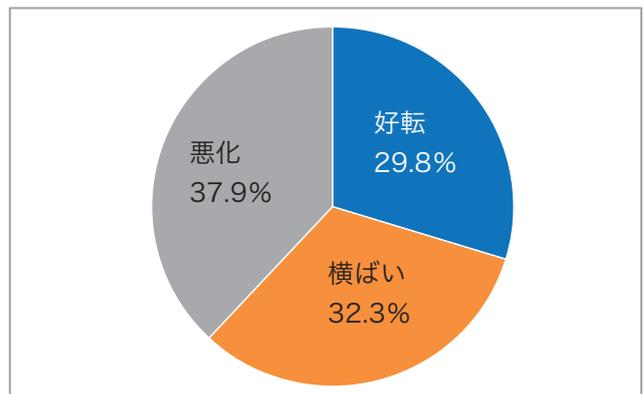


図3 前年同期(21年1-3月)比経常利益:DI値△17.7

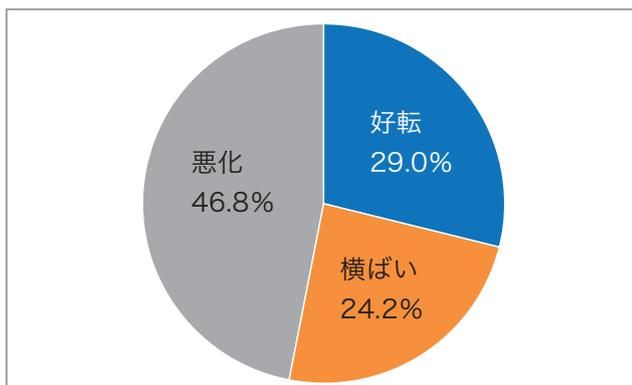
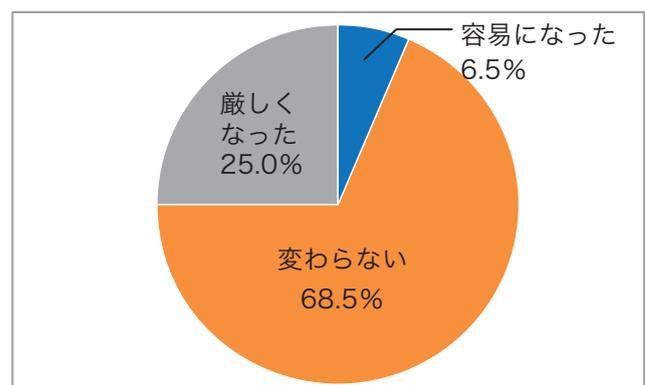


図4 前年同期(21年1-3月)比資金繰り:DI値△18.5



## (2) 金融機関の姿勢変化の有無と内容

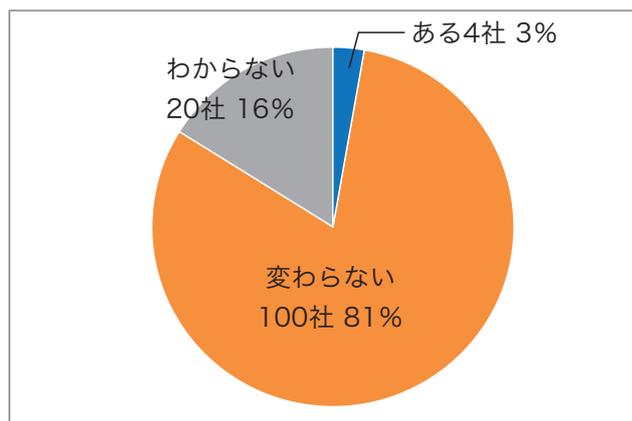
2022年1～3月期の金融機関の姿勢変化の有無について、「ある」が4社・3%（前回11社・8%）であり、「変わらない」が100社・81%（前回97社・72%）であった（図5参照）。

さらに、姿勢変化の具体的な内容を複数回答可で質問したところ、貸付攻勢が2社（前回調査6社）、私募債の勧誘が2社（前回2社）であった（表1参照）。

表1 金融機関の姿勢変化の内容（複数回答可）

貸付攻勢	2社
私募債の勧誘	2社

図5 金融機関の姿勢変化

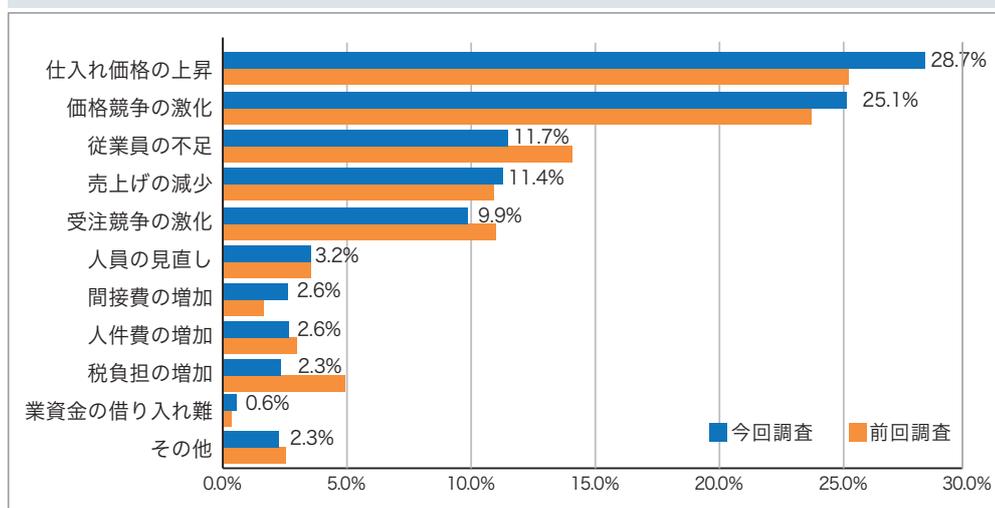


## (3) 経営課題と取り組み等

### ①経営課題

2022年1～3月期において、経営上の課題として深刻なものは、仕入れ価格の上昇（98社・28.7%）、価格競争の激化（86社・25.1%）、従業員の不足（40社・11.7%）が上位であった（図6参照）。

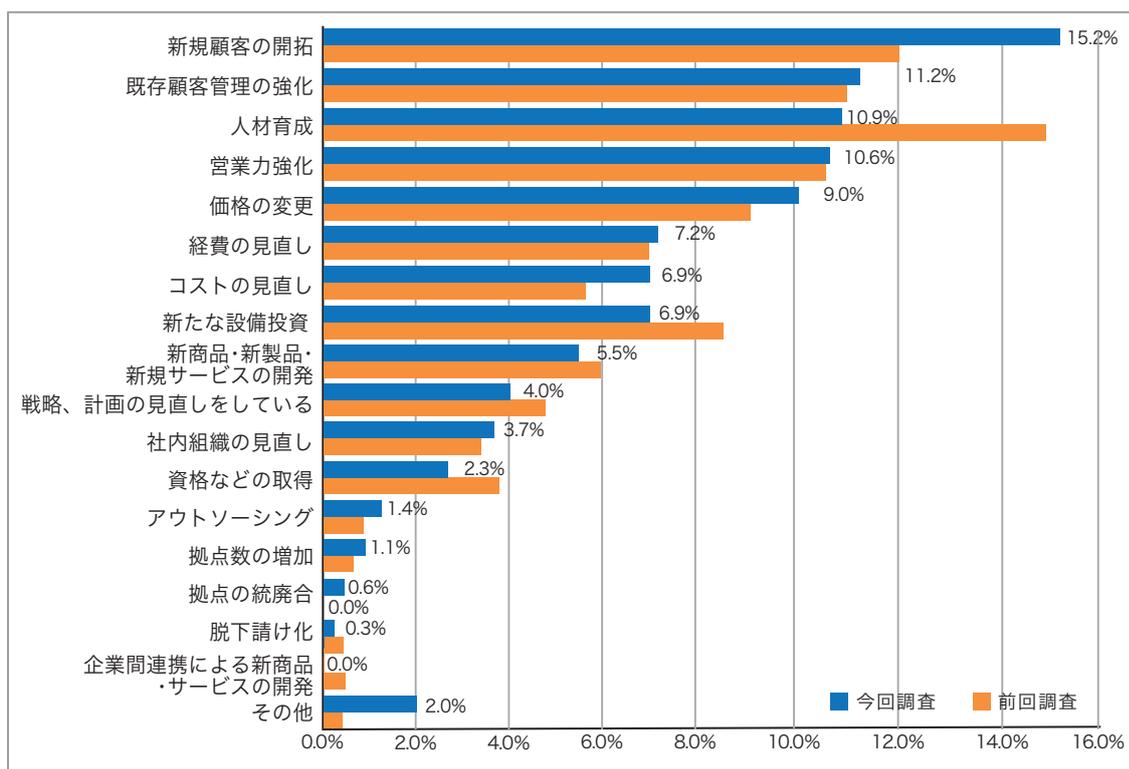
図6 経営上の課題（上位3つまでの複数回答）



### ②現在の取り組み

2021年10～12月期において「現在取り組んでいること」は、上位から、人材育成（58社・15%）、新規顧客の開拓（47社・12%）、既存顧客管理の強化（42社・11%）、であった（図7参照）。

図7 現在取り組んでいること（上位3つまでの複数回答）



### ③お困りごと、ご意見等の自由記述

自由記述として以下の回答があった。※原文のママ掲載

- ・コロナの影響でパートが良く休む
- ・ELV価格の高騰により在庫台数が減少し、国内資源循環によるCNへの取組が進み難い
- ・特にない・特になし・なし
- ・外国人社員を確保、育成したい
- ・外国人労働者の認可を
- ・海外に輸出をしているので新型コロナが流行した2020年以降、海運輸送費の高騰が進み、利益の確保が難しくなっています。

#### ■事務局より

次回2022年4～6月期の調査につきましては、2022年6月後半で予定しております。皆様、引き続きご協力の程お願いいたします。

また、今回の調査結果の詳細については、以下の「第7回景況調査報告2022年1月～3月期報告書」をご参照ください。

報告書版はこちら→ [https://www.elv.or.jp/media/5/20220425-keikyo7\\_20220420.pdf](https://www.elv.or.jp/media/5/20220425-keikyo7_20220420.pdf)

## 業界の知恵を結集！解体性向上事例集が完成！ 写真・動画で他社の知恵が吸収できるように

# 03

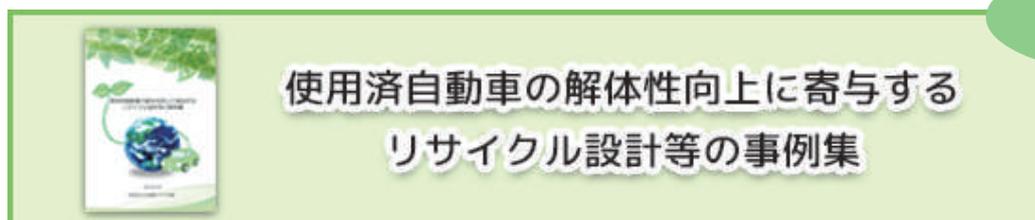
### クランクアップ！

解体事業者の皆様アンケートやヒアリング、情報提供等でご協力いただきました本事業は、2021年度末の活動完了に伴い、クランクアップを迎えました。

この事業では、解体事業者の皆様と自動車メーカーの皆様とのコミュニケーションを図り、その土台作りやキッカケとなるよう、「リサイクル設計事例集」を製作しました。この事例集には、「解体しやすいように、こんな風に設計を工夫している」など自動車メーカーによるリサイクル設計の紹介や、「こんな工夫をすることで作業の安全性や効率性を向上させている」といった解体事業者の取り組みの紹介など盛りだくさんな内容となっており、そこには「皆様の解体効率の向上にも繋げていただければ」という思いも込められております。

本事業は終了となりましたが、今後も、事例集は機構HPの特設ページからダウンロードが可能です。事例集の紹介動画も製作しておりますので、まだ、ご覧になられていない方は是非アクセスしてみてください！

#### ■特設ページはこちらをクリック▼



紹介動画も  
チェック！

使用済自動車の解体性向上に寄与するリサイクル設計等の事例集

PDF はこちら→ [https://www.elv.or.jp/files/examples\\_of\\_recycle\\_design\\_ja.pdf](https://www.elv.or.jp/files/examples_of_recycle_design_ja.pdf)



# 2021年度駆動用HVバッテリー共同出荷事業 3月出荷状況と2021年度累計

# 06

## 【2021年度 駆動用HVバッテリー共同出荷事業 3月出荷状況と2021年度累計】

上段 3月出荷数 下段: 2021年度結果 【単位: 個】

参加会社数 (社)	プリウス 20	プリウス 30	プリウスα	レクサス CT200H	アクア / ヴィッツ	カローラアクシオ / フィルダー	レクサス GS450H	クラウン HV GWS204
28	23	50	1	0	26	2	1	9
83	356	707	17	1	469	3	7	21

クラウン HV AWS210	SAI/レクサス HS250H	カムリ HV	日産デュトロ / ブルーリボン	ノア/ヴィクシー / エスファイア	シエンタ HV	プリウス 50	不良品 A-C	合計
1	1	1	0	3	0	0	8	126
14	32	11	0	11	5	3	63	1720

※2022年度も事業を継続いたします。

2021年度の結果・2022年度事業説明資料は以下のURLをご参照ください。

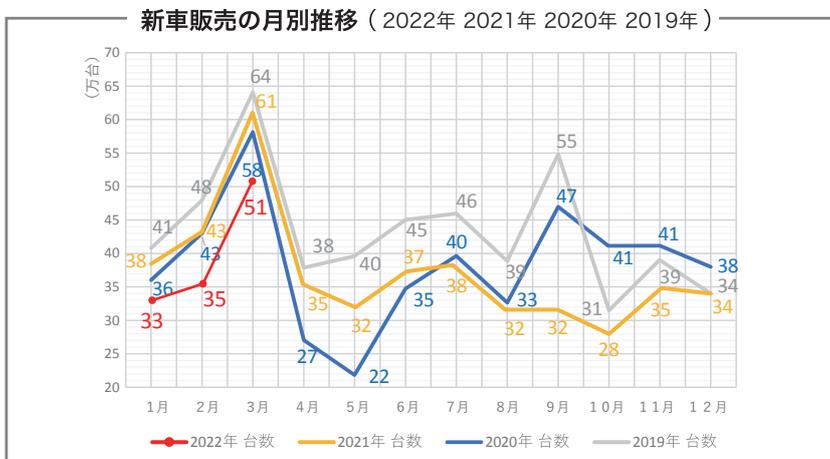
□2021年度の結果・2022年度事業説明資料はこちら→ <https://elv.or.jp/index.php?itemid=1810>

# 3月新車販売・使用済自動車発生台数

～ 3月の使用済自動車発生台数 前年同月比15%減 ～

# 07

## ■2022年3月度 新車販売台数 512,862台 (前年同月比83.7%)



過去の自動車販売台数推移		
年累計	台数	前年比(%)
2022年 (3月まで)	1,197,229	83.7
2021年	4,448,340	96.7
2020年	4,598,615	88.5
2019年	5,195,216	98.5
2018年	5,272,067	100.7

※出所: 一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

## ■2022年3月度 使用済自動車引取(電子マニフェスト)実施状況



引取件数	
300,435件 (前年同月比 84.9%)	
フロン回収工程	
264,845件 (前年同月比 84.4%)	
解体工程	
298,375件 (前年同月比 84.3%)	

※出所: 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

## 4月第3週(15日)の鉄スクラップ動向

鉄スクラップ市況(5地区代納平均価格)の推移



4月15日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

		H2	気配
関東	北関東	65,000～66,000	続伸
	南関東	65,000～66,000	続伸
	浜値	64,500～66,000	堅調
名古屋		64,000～65,500	続伸
関西	大阪	65,500～66,500	強保合い
	姫路	65,000～65,500	続伸

## 4月の関東鉄源テンドー、6万7010円で1万ト落札 前月比3,500円高「想定内」の水準に

関東鉄源協同組合(理事長=山下雄平ヤマシタ会長)は4月12日、4月契約の鉄スクラップ共同輸出入札(テンドー)を実施し、H2をFAS基準1トあたり67,010円で1万ト(1件)を落札した。前月の落札価格から3,500円の続伸。同落札価格としては、過去最高値の2008年7月(67,750円)に次ぐ高水準となった。

落札値は今回も直近の輸出交渉価格や国内相場を大きく上回ったが、市場には「想定内の水準」(商社筋)とする見方が多い。品質や納期などのリスクが少ない関東鉄源玉は高値が付きやすいためだ。

また、為替の円安進行も落札水準を押し上げたものと見られる。4月12日時点のTTSレートは1米ドル=126.56円。前回テンドーを開催した3月9日から9.67円下落している。ドル換算した4月の落札価格は529.47ドルと3月の543.33ドルに対して安い水準となる。

2月以降、テンドー結果は相場上昇のきっかけになってきた。今回もメーカーで対応が出る可能性もあるが「国内外市場に与える影響は限定的ではないか」(輸出筋)との見方が目立つ。

## 【関東地区】 続伸後も需給タイトな状況続く 電炉入荷にバラつき

関東市場の市況は4月13日から需要家筋の値上げ改定が広がり続伸した。14日から一部値上げが見られるほか、契約納入制の筋なども近く値上げ対応し、需要家筋の値上げ改定は一巡すると予想される。また、相場続伸後も需給タイトな状態が続いている。H2炉前実勢価格は65,000～66,000円中心。H2浜値は64,500～65,500円中心、一部高値66,000円見当のまま据え置いており、電炉買値と浜値が同水準に並ぶ状況だ。

## 【東海地区】 旺盛な需要に対し供給量が足りずなお堅調ムード

名古屋地区の市況はなお堅調ムードにある。地区電炉メーカーや湾岸集荷筋の旺盛な需要に対し発生が低迷しているため、全ての需要を満たすほどの供給量には足りず、4月入り後も電炉筋への入荷にはバラつきが見られる。12日の関東テンドーの結果を受け東京製鉄は即日全拠点で購入価格を引き上げたが、中部地区内の電炉も引き合いは緩められず、全社が一斉に追随上げへと動いている。H2炉前実勢価格は64,000～65,500円中心。

## 【大阪地区】 需給タイト感を支えに強保合い商状

大阪地区の市況は強保合い商状にある。輸出市場にピーク気配が広がり、外部環境による上昇の勢いは弱まっているが、湾岸の引き合いが電炉入荷の安定化を阻み、在庫不安が解消されないため、堅調ムードのまま4月後半入りとなりそうだ。なお姫路地区の鉄スクラップ市況は一段高となったが、品種によって価格対応にバラつきが見られた。H2炉前実勢価格は、大阪地区が65,500～66,500円中心。姫路地区が65,000～65,500円中心。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、4月15日午後時点のもの)

## — 5月の主な行事予定 —

May

### ■5月10日(火)

・第2回 広報部会 (WEB)

### ■5月17日(火)

・第1回ブロック長会議

### ■5月20日(金)

・J-FAR(自動車由来樹脂リサイクル社会実装事業)  
定例会議 (WEB)

※急遽、日程の変更・延期の場合がございます。

## お知らせ 「電気自動車等の整備業務に係る特別教育」をご存じですか？

電気自動車やハイブリッドカー等には、対地電圧が50Vを超える大型の蓄電池が搭載されており、感電による労働災害を防止するため、電気自動車等の整備業務に労働者を就かせる際に「低圧電気取扱業務に関する特別教育」を実施することが義務付けられておりますが、労働安全衛生規則等の改正により、2019年(令和元年)10月1日に、電気自動車、ハイブリッドカー等の整備業務は、この「低圧電気取扱業務に関する特別教育」から分離され、新たに規定された「電気自動車等の整備業務に係る特別教育」を修了する必要があります。

なお、改正前(2019年10月1日以前)に低圧電気取扱業務に関する特別教育を修了された方は、経過措置により新たに「電気自動車等の整備業務等に係る特別教育」を修了する必要はありませんが、施行日以降に修了された方は、特別教育を受講が必要となります。

本特別教育につきまして、受講をご希望される場合やご不明な点につきましては機構事務局までお問合せ下さい。

■詳細はこちらをご覧ください▼

[https://www.mhlw.go.jp/content/denki\\_kyouiku.pdf](https://www.mhlw.go.jp/content/denki_kyouiku.pdf) (リーフレット)

## 編集後記

年度末は車業界では一番の繁忙期と言われていますが、さて、皆さんの地域では如何だったでしょうか。素材価格が好調な反面、使用済自動車の発生が振るわず、やきもきとしている御仁も多かったと思われま

す。さて、自動車リサイクルは何も鉄・非鉄に限ったものではありません。自動車に使われている素材が、アイデアひとつで新しい商品として生まれ変わります。先日、東京のビックサイトでおこなわれたファッションワールド東京ではジャンパーやスニーカーといったファッションにエアバッグの布地を使用した製品が展示されました。確かにエアバッグやシートベルトを使った製品は以前からありましたが、今ひとつ盛り上がりに欠けました。しかしプロのアパレルメーカーが本腰を入れ始めたとなると少々事情が違ってきたようです。専門メーカーの持つデザイン力や製造といった、いわば御家芸によって、魅力的な製品に生まれ変わり、ユーザーの注目を集めているのです。なるほど、この手があったか！こうした異業種とのコラボに新たな自動車リサイクルの可能性を見る思いです。

(広報部会長 永田 則男)